



有家中だより No 6

令和 7 年 9 月 1 日

南島原市立有家中学校

校長 本多 洋二

2学期のスタート！

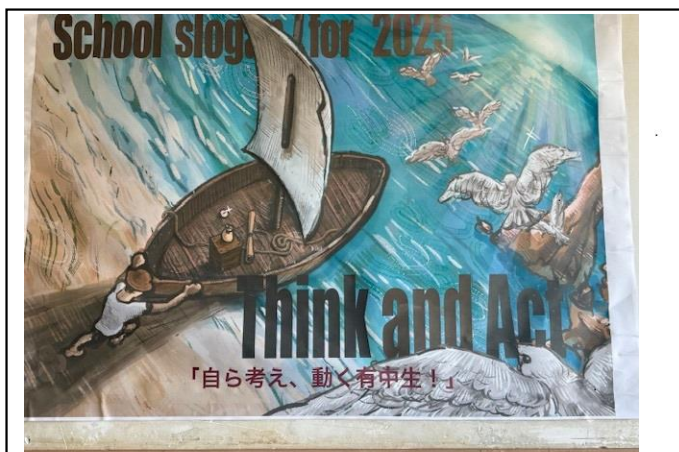
長い夏休みが終わり、2学期がスタートしました。生徒たちは、元気に登校し、気持ち良い挨拶を返してくれ、うれしく感じました。2学期は、3つの学期の中で最も長い学期です。自然界では、実りの秋を迎えます。収穫の秋とも言います。生徒の皆さんが、自分自身を大きく成長させる実り多き学期にしてくれることを願っています。

2学期の「有中合言葉」 「主体性！」

2学期は、多くの学校行事があります。職場体験学習、修学旅行、合唱コンクール、生徒会役員改選選挙など、様々な行事を生徒がつくる学びの多い行事にするためにも、この合言葉にしました。主体性は、①自分で考え、②自分で決め、③自分から行動することです。この3つのポイントを生徒の皆が、自分自身に言い聞かせ、可能性を拓ける学期にしてほしいという願いがあります。ご家庭でも意識させてください。

学校スローガン

「自ら考え、動く有中生！」



<山口教諭作成の学校スローガン、イメージ図です>

見事ソーラン節！

去る8月23日に地域行事である「ありえ浜んこら祭」が開催され、本校生徒も、吹奏楽の演奏とソーラン節の演舞で参加しました。ソーラン節は、5月の体育大会以来の演舞で、前日の練習、当日のリハーサルの2回だけの練習でしたが、本番では酷暑の中、具合が悪くなる生徒もなく、一生懸命に踊っていました。その一生懸命に踊る姿は、感動的であり、さすが有中生でした。「もってこーい」のかけ声もありました。



<見事！有中ソーラン節！アンコールもあり、素晴らしい出来でした>



<有中吹奏楽部、少ない人数の中で、よく頑張りました。大喝采でした。>



午後9時からPTA生活部による浜んこら祭後の見廻りをさせていただきました。気になる生徒はいませんでした。

ブレイクコーナー

自分の考えや人の受け売りです。気軽にお読みください。

『下に立つ心で理解する』

相手を理解することの大切さは分かっている、でも、違った心を持って生きる者同士がお互いを理解しきることは、現実には難しいことです。だからこそ、自分から相手に歩み寄り、相手の心に寄り添おうとする努力が必要になるのです。

つまり、謙虚に相手を尊重し、相手の立場に立って物事を受け止めることによって、初めて相手を本当に理解できるのです。

理解するとは、英語で「アンダースタンド」と言います。親と子、上司と部下、同僚、または親しい友だち同士でも、相手の上や横ではなく、「下に立つ」という謙虚な心になったとき、はじめて相手の心の一端が見えてくるのかもしれません。常に低い、優しい温かい心で、相手に思いを馳せたいものです。

2学期の主な行事

<9月>

- 5日(金) 学級役員任命式
- 11日(木) 校則検討委員会(17:00~)
- 12日(金) 生徒集会
- 17日(水)・18日(木) 職場体験学習(3年)
- 29日(月) 駅伝大会激励会

<10月>

- 2日(木) 市中総体駅伝大会(諫早市)
- 7日(火) 全校集会(伝達表彰)
- 8日(水)~9日(木) 実力テスト(3年)
- 10日(金) 進路説明会(3年)
- 16日(木)・20日(月) 歌声交換会(各学年・縦割)
- 24日(金) 合唱コンクール
- 29日(水)・30日(木) 命の学習(3年)
- 30日(木) 生徒集会

<11月>

- 4日(火)~11日(火) 3年三者面談
- 11日(火)~13日(木) 2年修学旅行
- 27日(木) 薬物乱用防止教室(2年)

<12月>

- 1日(月) 生徒会役員改選選挙
- 5日(金) 学年PTA(1・2年)
- 9日(火) 人権集会
- 10日(水) 避難訓練
- 19日(金) 生徒集会
- 22日(月) 生徒会役員任命式・役員引継ぎ式
- 24日(水) 2学期終業式

※年度当初(総会時)に配布した計画から、諸事情により変更しています。ご確認ください。今後も変更する場合は、早めに連絡します。

親子間でも同じです。子どもが失敗したとき、「なぜそんなこともできないの!」と上から叱ると子どもは萎縮します。「お母さん(お父さん)も小さい頃、同じような失敗をしたんだよ。どうしてできなかったか教えてくれる?」と子どもの気持ちを受け止めながら寄り添いたいですね。